

◇ 令和6年度 指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「玉川」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	24,112,049円		25,855,081円	頂いている指定管理料の範囲で職員、子どもに満足してもらえる予算執行ができた。	保護者と子どもにとって、違和感なく生活の一部として機能できるよう努めたい。
施設HPアドレス	http://www.asahihoiku.jp/		2年目	21,853,100円		23,278,200円	頂いている指定管理料の範囲で職員、子どもに満足してもらえる予算執行ができた。	保護者と子どもにとって、違和感なく生活の一部として機能できるよう努めたい。
指定管理者名	社会福祉法人あさひ		3年目	22,720,204円		25,893,545円	頂いている指定管理料と補助金の範囲で職員、子どもに満足してもらえる予算執行ができた。	保護者と子どもにとって、違和感なく生活の一部として機能できるよう努めたい。
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日		4年目	21,745,139円		24,880,497円	頂いている指定管理料と補助金の範囲で職員、子どもに満足してもらえる予算執行ができた。	保護者と子どもにとって、違和感なく生活の一部として機能できるよう努めたい。
評価対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		5年目	22,103,384円		25,393,849円	頂いている指定管理料と補助金の範囲で職員、子どもに満足してもらえる予算執行ができた。	保護者と子どもにとって、違和感なく生活の一部として機能できるよう努めたい。

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
4	☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
2	☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1		評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成18年4月1日
施設の供用開始日	平成19年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
令和6年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
①事故、大きなケガ、保護者からのクレームが無いように努める。 ②職員、子ども、保護者から信頼されるよう管理、運営する。 ③インフルエンザやコロナウイルス等、感染症が蔓延しないよう衛生管理を徹底する。 ④子ども同士が学年問わず互いを高め合い関わりあえる環境を作る。		概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
上記4項目を概ね達成できたように思う。 大きな怪我やトラブル、保護者からのクレームなども無く楽しく過ごすことができた。		(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務 (1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務 (2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務 (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等) (仕様書 P1.2)					
評価項目 1			指定管理者の自己評価		
			市(施設所管課)の評価		
	上半期評価	☆☆☆☆☆	安定して職員の数と質を保つことができた。そのためか、児童にも安定して在籍して頂くことができた。また研修にも積極的に参加することができ、職員の能力や保育の質を高めることができた。	上半期評価	仕様書に定める基準を遵守しながら適正に運営された。市や県が実施する研修にも積極的に参加され、支援員等の資質向上に努められた。
	☆☆☆☆☆			☆☆☆☆☆	
	下半期評価		安定して職員の数と質を保つことができた。そのためか、児童にも安定して在籍して頂くことができた。また研修にも積極的に参加することができ、職員の能力や保育の質を高めることができた。	下半期評価	
	☆☆☆☆☆			☆☆☆☆☆	

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等) (仕様書 P1.2)					
評価項目 2			指定管理者の自己評価		
			市(施設所管課)の評価		
	上半期評価	☆☆☆☆☆	手洗いうがいやテーブルの消毒など感染症対策は継続しつつ、施設内行事や親子活動など徐々に増やしていった。個人情報は鍵付きの保管庫にて厳重に管理した。	上半期評価	時期に合ったイベントを実施され、親子活動等を通して児童が楽しめるよう、保育を工夫する姿勢が見られた。また、個人情報についても、鍵付きの保管庫に保管し、適正な管理をされていた。
	☆☆☆☆☆			☆☆☆☆☆	
	下半期評価		手洗いうがいやテーブルの消毒など感染症対策は継続しつつ、施設内行事や親子活動など徐々に増やしていった。個人情報は鍵付きの保管庫にて厳重に管理した。	下半期評価	
	☆☆☆☆☆			☆☆☆☆☆	

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等) (仕様書 P2.3)					
評価項目 3			指定管理者の自己評価		
			市(施設所管課)の評価		
	上半期評価	☆☆☆☆☆	毎月のおたより配布を行うとともに、保護者が不安にならないよう、お迎え時の情報交換を密に行った。児童は少しでもストレス解消できるよう屋外を中心に活動した。	上半期評価	毎月のおたよりや送迎時にて、児童の普段の様子を伝えられた。また、児童に対しても、屋外活動の充実を図られた。
	☆☆☆☆☆			☆☆☆☆☆	
	下半期評価		毎月のおたより配布を行うとともに、保護者が不安にならないよう、お迎え時の情報交換を密に行った。児童は少しでもストレス解消できるよう屋外を中心に活動した。	下半期評価	
	☆☆☆☆☆			☆☆☆☆☆	

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等) (仕様書 P3.4)					
評価項目 4			指定管理者の自己評価		
			市(施設所管課)の評価		
	上半期評価	☆☆☆☆☆	毎月1回実施の日常の設備点検と、消防設備等の法定点検を行った。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて点検や様々な災害を想定した避難訓練等を実施された。
	☆☆☆☆☆			☆☆☆☆☆	
	下半期評価		毎月1回実施の日常の設備点検と、消防設備等の法定点検を行った。	下半期評価	
	☆☆☆☆☆			☆☆☆☆☆	